

2016 実践教育研究発表会

2016. 8. 25～8. 27

大会テーマ 「 技と心で継ぐ ・ものづくり ・ひとづくり 」

2016年度の実践教育研究発表会（埼玉大会）が8月25日から8月27日までの日程で、埼玉県行田市のものづくり大学キャンパス（以下、ものづくり大学という）で厚生労働省、高齢・障害・求職者雇用支援機構、埼玉県、行田市、行田市商工会議所の後援で開催されました。大会は、「技と心で継ぐ・ものづくり・ひとづくり」を大会テーマに掲げ、大会運営委員会および実行委員会によりいろいろな企画が準備されました。3日間の会期中、延べ620名余りの参加者により発表や意見交換、討議、交流が行われました。

3系共同企画である特別講演では、「ガリガリ君のマーケティング戦略」というテーマで赤城乳業株式会社代表取締役社長の井上創太氏の講演が行われました。

講演では、ガリガリ君でおなじみのアイスキャンディーがどのようにしてヒットしたのかについて、アイスクリーム業界の状況、気候や天候と関係、新しい商品の企画、売り込み戦略など詳しい説明がされました。新しい商品の企画では、若い社員の意見を取り入れることや売れそうもない商品においても市場に出してみると意外に売れる場合があることなど非常に興味深い内容の講演でした。



発表会会場（ものづくり大学）



一般講演の様子



一般講演の様子

各専門部の企画もそれぞれ行われました。機械系企画では、「リケ女の教育」というテーマでシンポジウムが行われました。4名のパネラーの方々の講演の後、理科系の女性教育に関する様々な意見交換が行われました。電気・電子・情報系では、「これから求められる組み込み技術&オススメ教育メソッド」というテーマでCQ出版元編集長の山本潔氏の講演会、また富士電機機器制御株式会社テクノフェーブふきあげの企業見学会が行われました。建築・デザイン系では「ものづくり大学15年の人づくりの軌跡と課題」というテーマでシンポジウムが行われました。

一般講演では92件（機械系30件、電気・電子・情報系24件、建築・デザイン系12件、能力開発分科会26件）、ポスターセッションでは4件（電気・電子・情報系2件、建築・デザイン系1件、能力開発分科会1件）の発表がありました。今回は一般講演での女性の発表が例年に比べ多くみられました。

企業展示では全国から30ブースの出展があり、教育・訓練の教材や関連製品などの展示が行われました。

交流会は、ものづくり大学内の大会会館で開かれ、全国の教育・訓練施設から来られた会員と賛助会員、来賓、発表会関係者の交流が和やかに行われました。



ポスターセッションの様子



企業展示会場の様子



機械系企画の様子